

豊岡市図書館未来プラン(概要版)

1. 現況と課題

図書館

- 建物自体は強固
- 収蔵スペースが将来不足
- ボランティアの高齢化、後継者不足
- 利用者、貸出点数ともに減少している
- 事業の整理と焦点化

検討で見えた課題

- 利用した人が40%にとどまる。(過去1年間の利用)
- 事業の認知度が低い
- 駐車場が不足(本館)
- サービスの充実を希望
- 居心地のよい場所を希望

社会情勢

- コーヒー等が飲める、くつろぎの場が増えている
- 学校支援の充実
- 市民活動組織の設立(市民とともに協働する)

2. 図書館の機能強化

図書館を学びとつながりの場として活用し、豊岡の暮らしを楽しむ人が増えている

基本的な考え方

- 読書を通じて想像力あふれる感性を育み、“学び続けること”を支援する。
- 周りの目を気にすることのない居場所となり、社会とのつながりと出番づくりを支援する。
- 読書の根幹となる図書資料等の収集を積極的に行う。

機能強化の柱

柱-①

市民が図書館を身近で利用価値のある場所だと思ふことが必要

柱-②

誰もが長く居たいと思う居心地のよい場所になることが必要

機能強化の視点

視点①

学びの支援

図書資料を提供することで学び、気づきをサポートする。

- ・レファレンスサービスの充実
- ・学校図書館支援

視点②

居場所と 出番づくり

だれもが居ることができる場所を整備し、活躍のきっかけを提供する。

- ・相談窓口の設置
- ・出番づくりの創出

視点③

協働と 自己実現の支援

協働することで市民のための図書館であることを意識する。

- ・自らの施設であるとの意識付け
- ・民間との協働体制の強化

視点④

情報拠点の 提供

あらゆる分野の資料を収集し、情報のデータベースとなる。

- ・新たなサービスステーションの整備
- ・情報を得る機会の増加

3. 施設機能等の見直し

施設機能の整備

- 談話スペース、駐車場の整備
- 市街地への図書館サービスステーションの整備
- 学校図書館とのネットワーク化
- やさしい日本語表記による館内表示変更
- Wi-Fi環境の整備

施設の長寿命化

- 視聴覚機器・空調機器・照明設備の更新
- 録音室の修繕

事業推進体制の見直し

- 児童ボランティアの養成
- 図書館サポーター組織の設立準備
- 配送・資料代理受領の検討

4. 管理運営計画

「知の蔵」として基本的機能を発揮してきた現在の直営方式を基本としながらも、民間等との協働体制の確立をめざす。

《現状》

- ・幅広い年代等を対象にした事業を展開しているものの、広報等の情報発信が不十分で周知が図れていない。
- ・利用者減に対応するため多種多様な行事開催や本の貸し借りだけに注力することに追われ、業務改善の意識が低くなり、教育現場との連携、市民との協働がおろそかになってきた。

《民間委託》

- ・市が苦手としている部分を補うため、民間委託による運営も有効な手段として検討
- ・管理費用の低減、業務改善による効率化、情報発信力を期待できる等評価されている。
- ・市に専門的知識の職員が不在となる。契約期間による短期的経営視点になることを懸念

《パートナーシップ》

- ・行政に不足している部分を民間の考え方で補完し、継続した協働体制を拡充する。